

消費・安全対策交付金(食料安全保障確立対策推進交付金)の成果及び評価報告書(令和2年度・特別型)

区 分		事業実施計画	事業実施実績	目標値及び実績				都道府県等による評価の概要	備考
目 的	目 標			目標値	実績	達成度	評価		
Ⅱ 伝染性 疾病 ・害虫 の発生予 防・まん 延防止 (特別交 付型交付 金)	家畜衛生の推進	豚熱の検査の実施により、ウイルスの浸潤状況を把握し、適切な野生イノシシ侵入防止対策を実施することで、農場バイオセキュリティを向上させ、CSFのまん延を防止する。	本事業を実施するにあたり、捕獲を実施している市町村及び市町村から捕獲の受託を受けている狩猟団体等との調整を実施する必要があったが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言及びその後に引き続き実施した感染拡大防止対策のため、事業実施体制の新規構築に必要な関係者、関係団体との調整ができなかった。 そのため、令和2年度において本事業の活用が見込まれないことから、令和3年2月に関東農政局長に対し、事業実施計画の変更(令和3年2月15日付2産労農安第1280号)と事業廃止申請(令和3年2月15日付2産労農安第1281号)を行い、その後、計画変更承認通知(令和3年2月25日付2関消第919号)及び交付決定取消通知(令和3年3月8日付2関東消第133-2号)を受けている。	豚熱のまん延防止	なし	-	-	野生イノシシにおける豚熱ウイルスの検査は、本事業の有無に関わらず実施しており、豚熱浸潤状況の把握を行うとともに、検査結果を農場における野生イノシシ侵入防止対策の推進に活用している。 ○令和2年度 野生イノシシ検査実績 遺伝子検査 死亡イノシシ 10頭(うち陽性7頭) 捕獲イノシシ 30頭(うち陽性1頭) 抗体検査 捕獲イノシシ 30頭(うち陽性5頭)	令和元年度補正予算
	重要病虫害の特別防除等	平成21年4月、東京都青梅市で栽培されているウメにウメ輪紋ウイルス(ブラムボックスウイルス、以下「PPV」)が感染していることが確認された。そこで、PPVのまん延を防止するため、周辺地域における発生調査、及びこれを媒介するアブラムシの防除、感染樹等の買上げ、伐採・焼却等を実施する。	(1)ブラムボックスウイルスの発生調査 ・調査地域:東京都内1区市町村 ・調査時期:7月～8月 ・調査対象植物:ウメ、モモ、スモモ、アンズなど省令による移動制限植物 (2)アブラムシの防除 ・植物防疫官との協議に基づき、消毒を要する箇所はなし。 (3)植物の買上げ ・実施地域:青梅市 ・本数:計 11本 経済樹2本、庭木等 9本、苗木・植木類 0本 (4)植物の伐採及び焼却 ・実施地域:青梅市 ・本数:計 11本 経済樹 2本、庭木等 9本、苗木・植木類 0本 (5)その他の防除対策推進に必要な経費 ・業務システムの運営等 業務システムの運用支援委託 事務消耗品等	PPVのまん延防止	PPVの適切なまん延防止	達成	適正	目標を達成しており良好である。	令和2年度当初予算
	重要病虫害の特別防除等	平成21年4月、東京都青梅市で栽培されているウメにウメ輪紋ウイルス(ブラムボックスウイルス、以下「PPV」)が感染していることが確認された。平成27年度より早期再植を望む青梅市に対して植物防疫法第19条第1項の規定に基づく協力指示書が交付された。このため、ウメ輪紋ウイルス緊急防除の強化対策を推進し、早期根絶、防除区域解除に向けて取り組む。	(1)市町村による発生調査 ・調査地域:梅郷1丁目～6丁目、和田町1・2丁目、畑中3丁目、柚木町1丁目、二俣尾1・2丁目、日向和田2・3丁目、畑中1・2丁目、柚木町2・3丁目、二俣尾3・4丁目、日向和田1・2丁目 ・調査時期:6～7月、8月、9～10月 ・調査対象植物:ウメ、モモ、スモモ、アンズなど省令による移動制限植物 (2)アブラムシの防除 ・防除地域:梅郷1丁目～6丁目、和田町1・2丁目、畑中3丁目、柚木町1丁目、二俣尾1・2丁目、日向和田2・3丁目、畑中1・2丁目、柚木町2・3丁目、二俣尾3・4丁目、日向和田1・2丁目 ・防除時期:10月(1,271園地・7,677本)、2月(1,279園地・7,895本) (3)その他の防除対策推進 ・広報活動 市報掲載,回覧板回付,チラシ配布ほか	PPVのまん延防止	PPVの適切なまん延防止	達成	適正	目標を達成しており良好である。	令和2年度当初予算 青梅市(間接補助部分)